

大館市総合教育会議
会 議 録

平成28年10月開催

平成28年度 第1回大館市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 平成28年10月27日 木曜日
開会 16時00分 閉会 16時50分
- 2 会 場 大館市役所 本庁 第1委員会室
- 3 出席者 大館市長 福原 淳嗣
大館市教育委員会
教 育 長 高橋 善之
教 育 委 員 山田 和人
教 育 委 員 根田穂美子
教 育 委 員 三浦 仁
教 育 委 員 清野 克子（欠席）

（事務局関係）

教育総務課長	加賀 安長
教育総務課長補佐	成田 政仁
学校教育課長	山本多鶴子
学校教育課長補佐	羽生 昇二
学校教育課長補佐	長岐 公二
教育研究所長	貝森 逸子
生涯学習課長	一関留美子
郷土博物館長	若宮 司
中央公民館長	松田 新一
スポーツ振興課長	三澤 勝
スポーツ振興課長補佐	佐藤 税

- 4 協議事項 (1) 次年度以降、重点的に講ずべき施策について

5 会議内容

○安保教育次長

ただ今より、平成28年度第1回大館市総合教育会議を開会いたします。
本日、清野委員が都合により欠席されていますことをご報告いたします。
それでは始めに、福原市長がご挨拶申し上げます。

○福原市長

本日は、平成28年度第1回大館市総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

教育委員の皆様には、平素より大館市の教育行政における基本方針や重要事項の審議・決定、また、学校訪問や研修への参加等、ご多忙中にもかかわらず、ご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

昨年度この総合教育会議は、3回開催をいたしました。1回目は、5月28日に開催し、教育行政の「大綱」を策定いたしました。2回目は、10月19日に開催し、新年度予算要求に向けて「取り組む主な事業」について協議いたしました。3回目は、3月31日に開催し、教育行政の「大綱」の変更について協議させていただきました。

協議の成果として、28年度当初予算では、「ふるさとキャリア教育」における中心的活動であります小・中学校が繰り広げる「百花繚乱作戦」に、前年度のほぼ倍増の450万円を措置することができました。

言うまでもなく「ふるさとキャリア教育」は、高橋教育長を先頭に教育委員会が推進する「自立の気概と能力を備えた未来大館市民を育成し、未来を切り開くという20年、30年後を見据えた『教育による未来戦略』」であります。さらには、子どもたちのためだけの教育ではなく、市民全体の教育として進化発展させていこうとしております。

私自身、平成28年3月定例会における「ひとづくりをどのように推進していくのか」との一般質問に対し「まちづくりの根幹には地域で自立する「人財」、大館の発展に貢献する「人財」を育成する「ひとづくり」があり、そして「ひとづくり」に当たっては「人は自らの学びと、他者との交流で育つ」を基本方針として進めてまいりたいと考えております。」と答弁しております。

大館市でも今年度策定しました「第2次新大館市総合計画」において、5つの都市像を掲げており、一番先に「まちや暮らしのなかで市民が活躍し、次代を育む『教育文化都市』」として「ひとづくり」を挙げております。

このことから「ふるさとキャリア教育」を全面的に支援していく考えであることを理解していただけたと思います。

本日は、平成29年度当初予算要求に向けて、「次年度以降、重点的に講ずべ

き施策」が案件となっております。次第にあります協議事項の項目ごとに、教育委員の皆様と活発な意見交換を行い、施策に対する大きな方向性を示したいと考えております。

本日の総合教育会議で協議し、示された方向性に基づき、教育委員会事務局の各課においては、新年度予算要求に反映させていただきたいと考えております。

限られた時間ではありますが、ご協力の程お願い申し上げまして、簡単ではございますが、私からのご挨拶といたします。

○安保教育次長

ありがとうございました。

続きまして、高橋教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

○高橋教育長

市長には、教育に対する深いご理解に基づいて、様々なご配慮や財政的なご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。また、ご多忙でありながらも時間を割いて学校現場に出向いていただき、子どもたちに直接「ふるさとキャリア」の講話をしてくださるなど、本当にありがたいと思っております。「大館盆地を教室に 市民一人一人を先生に」が、「ふるさとキャリア教育」のコンセプトではありますが、おかげさまで現在は、「大館盆地を学校に 市長も市民も先生に」の段階に、進化したと思っております。

先ほど市長のお話にもありましたが、今年度から始まった「第2次新大館市総合計画」の中において、「ひとづくり」における重要政策として「ふるさとキャリア教育」を位置付けてくださいました。このようなことは、大館の教育の歴史上初めてのことになります。このようなことで、私ども教育に携わる者、私はもとより教育関係者一同意気感ずるところがあり、総力を挙げてその使命を果たして参りたいと考えております。

また、市長のビジョンへの具体的な連携として、例えば歴史まちづくりに向けて、生涯学習課が展開している「市民版ふるさとキャリア教育」を通して、市民の方々への周知なり、ご理解を深めて参りたいと思っております。併せて、市長が目指している交流人口の増加に関しても、現在大館が持っている教育ブランドを積極的に活用して、全国からの教育視察団や教育留学の受け入れを拡充して参りたいと考えております。

おかげさまで、大館の子どもたちと教育は、色々な面で全国トップレベルま

で到達しております。しかし、未来大館市民として、具体的にさらにこうして行きたい、磨き上げたい、こうした力をつけさせたいという思いもあり、次年度に向けて新たな施策としてご提案申し上げますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

予算に関しては、このような成果を生み出した主体となっているのが、大館の学校の教職員であります。決していい条件の下でなくても、高い志の下で子どもたちの教育にあたっております。職場環境については、少しでも改善してあげたいとの願いもあり、これについてもご提案させていただきます。

さらには、全国的に問題となっています子どもの貧困化ですが、もちろん大館にもあります。「ひとりたりとも置き去りにしない教育」が、大館の教育理念です。この観点からも、できる限りバックアップしていきたい願いもありますので、よろしくお願いいたします。

先日、市民の方から高額なご寄附をいただきました。大館の人材育成に役立てていただきたいとの願いを受け止めましたので、そのような形で「ふるさとキャリア教育」への基金を立ち上げ、「ふるさとキャリア教育」を通して子どもたちに還元して参りたいと考えております。

大館市では、市長のビジョンと私どもの教育の未来戦略が、全く同じベクトルの中で有機的に繋がりながら、非常に有効な成果を出しつつ進んでいるところです。教育委員会制度改革がありました。まさに目指している姿がこれではないかと、私は自負しております。その象徴が、本日の総合教育会議でありますので、よろしくお願い申し上げます。

○安保教育次長

ありがとうございました。

これより、協議事項に入らせていただきます。会議の議長は、市長にお願い申し上げます。

○福原市長

それでは、教育委員会の皆さま、議長を務めさせていただきます。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

次第により、順次、進めさせていただきます。

最初に、協議事項(1)「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」です。事務局より説明をお願いします。なお、説明の順番等に関しまして、事務局に一任をいたします。

○安保教育次長

それでは、次第の5ページをご覧ください。教育総務課から順次、重点事項について説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、加賀教育総務課長が説明)

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、山本学校教育課長が説明)

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、一関生涯学習課長が説明)

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、松田中央公民館長が説明)

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、若宮郷土博物館長が説明)

(「次年度以降、重点的に講ずべき施策について」、三澤スポーツ振興課長が説明)

○安保教育次長

事務局からの説明は、以上です。

○福原市長

事務局の各課の皆さん、説明どうもありがとうございました。

それではただ今の協議事項(1)について、協議したいと思います。

ご意見等のある方は、挙手をお願いします。

○福原市長

私から申し上げます。「小学校における英語教育の推進」については、インバウンドへのおもてなしという考え方は、非常にいいと思います。「配当予算(消耗品費)の増額」、「学校へのエアコン設置」については、教育長の言葉にもありました環境を整えていくことに関して、きちんと対応して欲しいと思います。生涯学習課の方向性がすごくいいと思うのは、私自身横軸という言葉をよく使いますが、そこを実現しているところです。「木育ひろば」と健康課「さんまある」の連携、「はちくんダンス」と「はちくん体操」の普及などです。先般、秋田犬ツーリズムのRESAS部の子どもたちの報告がありました。大館桂桜高校の「はちくん体操」のプレゼンも面白く、このようなのは、交流人口や関係性人口を増やしていく上で、非常に有意義だと思います。「公民館活動の充実」に関し、看護福祉大との連携は、生涯学習課同様とてもいいと思います。「発掘

調査」に関しては、成果物をきちんと市民に見せる方向性で進めてください。「郷土博物館及び関連施設の整備」ですが、風穴館と芝谷地に関してです。国土交通省能代河川国道事務所でも、非常に歴史まちづくりに興味と関心を示してくれていて、現在進めている大館市役所から市立総合病院までの国道7号線や長倉のエリアは、歴史まちづくりとデザインを一緒に合わせた展開がされると思います。「長根山陸上競技場の第2種公認検定」については、きちんと公認されるよう整備いたしましょう。

○山田教育委員

学校教育課の「配当予算（消耗品費）の増額」に関しては、是非そのような形でお願いしたいと思いますが、だからと言って、消耗品費がこれですべて賄えているかと言えば、そうではない気がします。おかげさまで大館は、「ふるさとキャリア教育」が非常に注目を浴びていますので、さらにそれに肉付けをする意味でも、本当に子どもが学校へ行ってよかった、大丈夫だった、子どもが安心できる町という意味でも消耗品費のあたりはお願いできればと思います。もちろん教育は、各家庭で行うのが実際ですが、あくまでも義務教育の世界なので、そこは重ねてお願いできればと思います。

○福原市長

今の件に関して、学校教育課長から何かありますか。

○山本学校教育課長

来年度は、全体の40%程度予算要求したいと思いますが、できれば徐々に保護者負担を減らしていく方向にしていきたいと考えます。

○安保教育次長

実は学校現場は、遠慮しています。エアコンの要望なども一度もされていません。建物も抱え、人数も抱えていればお金はかかります。これまで辛抱していただいたこともあり、その辺を他市町村に追いつくよう、そして見本となるような環境にしていきたいと考えております。

○根田教育委員

「児童から学生までを対象とした公民館活動の充実」についてです。看護福祉大の学生と連携をして、小学校、中学校、高校、大学まで連携し活発化して、公民館に若い方々が集うようになり、大変ありがたいことだと思います。これも今後充実させていただきたいと思います。「木育ひろば」と「さんまある」

との連携」ですが、気軽に相談できる窓口や子育て講座を実施して、子育て包括支援事業の利用者拡大を図るとあり、今後大いに進めていただきたい事業の一つだと思いました。「はちくんダンス」は、子どもたちと高齢者の方々が繋がる、一緒にダンスができて非常にいいと考えました。確認ですが、市民プールは新しく作るのですか。

○高橋教育長

旧工業高校のプールについては、現在の市民プールの代替という位置づけですが、それとは別に、新しいプールを作るかどうかも含めて検討する会になります。

○安保教育次長

補足させてください。競技団体からは、50mプールが欲しいと言われていきます。旧工業高校のプールは25mです。小畑市政時代には、一度作る話まで行っていますので、本当に作った場合、財政が持ちこたえられるのか、近隣市町村のプールは使用できないのかなど、その辺を話し合ってください、方向性を決めていただくことになるかと思えます。

○福原市長

関連してですが、市としても公共施設の在り方を抜本的に見直そうということで、今年度中に公共施設の管理計画を策定します。県と市でも公共施設の総合管理を一緒に行おうとしています。例えば、小坂町にあるものを市に作るのか、北秋田市にあるものが市になぜないのか、もうそのような時代ではないだろうというところも踏まえて、会では話し合ってくださいことになります。

○高橋教育長

「勤労青少年ホーム」についてです。建物の在り方については別の問題ですが、おひとり教室について、補足させてください。不登校状態にあります小中学生ですが、毎年20人から30人の子どもたちが、ここの適応指導教室に籍をおいて、できる限りこの教室に来て、適応指導教室の先生とお話をしたり、仲間と一緒に活動したり、自主的に学習を行ったりもしています。不登校の出現率は、全国で秋田県が最も低く1000人当たり約8人位、さらに大館は低く1000人当たり約7人位です。ただ、実数としては20人から30人、昨年度は35人いました。その子どもたちを、できるだけ無理なく学校へ帰してあげる、そのためのストレスを取ったり、障害になっていることを克服させたり、一緒に話して心の中に希望を作ったりして、復帰率も非常に高い教室

です。中学校3年生の段階で不登校の子どもたちは、ほぼ100%進学しています。通信制や定時制もありますが、ほぼ100%次の道へと、自分の足で踏みだしております。そういう意味でも、大館市の教育理念である「ひとりたりとも置き去りにしない教育」という観点からも、小中学校時代はそうであっても、やはり未来の大館市民として、人財として、これから頑張ってもらいたい観点からも、ここの部分は大切にしているところです。そういう意味では、場所の問題は別になりますが、そのような施設であることを、是非市長にはご理解いただきたいと思えます。

○根田教育委員

おおとり教室は、先生方やスタッフの方々が本当に頑張ってくださっていると思えます。時々、連れ立って一緒に行動しているところを見かけることがあります。和気あいあいとして、その中で大切な仲間づくりをしてくれていて、ありがたいことだと感じています。桜楯館のスペース・イオの利用頻度は、どのようになっているのでしょうか。

○高橋教育長

桜楯館に併設されているスペース・イオは、これも不適應の子どもたち、小学生、中学生、高校生への適應ができる施設として、秋田市にある明德館高校に併設されているスペース・イオの分校として、今年の4月から開設されました。こちらに関しては、障害を持っている子どもたちなど、専門性を必要とする対応が多いので、資格と言いますか、そのような経験を積んできた先生が、担当職員として配置されています。スペース・イオは、1対1の対応で心の色々な問題とか、カウンセリング中心に専門的な係わりをして、動けるようになったら、次はスモールステップとしておおとり教室へ、そして学校へと、そのような使い分けをしています。そういう意味では、おおとり教室からスペース・イオへ行く子どももいるし、スペース・イオからおおとり教室へ戻って来る子どももいます。不登校児童・生徒への対応としては、大館は極めて望ましい環境にあるということになります。

○福原市長

回り道したり、寄り道したりと、人の人生はそれぞれ色々あるので、ゴールはないと思えます。要は、それをケアできる大館市かどうかだと思います。

○高橋教育長

とりあえず、子どもたちに関しては、そのような態勢は非常に整っています。

できるだけ、成人した後に引きこもりにならないように、このところで、ベストを尽くしたいと思います。

○福原市長

私は、どちらかというところ「ものづくり」、「物語づくり」と言います。住む人口は減るけれども、来る人口を増やす。来る人口を増やすために、「ものづくり」と「物語づくり」の力。「ものづくり」は、外から外貨を稼ぐ、「物語づくり」は、外からお客様を呼ぶ。要は、稼ぐということです。ただし、稼いで、何をするかが大切になります。これから大館を担う子どもたちに、教育という投資をする。大館を支えてくれた人に、安全安心を届ける。二つの目的のために、「ものづくり」と「物語づくり」。その根本に「ひとづくり」があるということです。

○三浦教育委員

「旧工業高校の閉校跡地のスポーツ施設整備」について、「スポーツ公園」という名称にするのであれば、必ず「スポーツ公園」にはジョギングコースがあるはずなので、予算等が許されるのであれば整備していただきたいと思います。

○福原市長

スポーツ振興課長、いかがですか。

○三澤スポーツ振興課長

ジョギングコースであれば、予算的にも多額にならないと思いますし、広いエリアでもあることから、それは可能かと思います。

○福原市長

それでは、議論も尽くされたようです。その他になります。事務局から、何かありますか。

○安保教育次長

特に、ありません。

○福原市長

それでは、他になれば、その他について終了させていただきます。

ここで、議長の職を解かせていただきます。円滑な審議にご協力くださいまして、本当にありがとうございました。

○安保教育次長

それでは、以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。
本日は、ありがとうございました。